

# MEX NEWSLETTER

Matsumoto International Exchange Committee

平成 29 年 3 月 1 日  
(事務局) 松本市丸の内 3 番 7 号  
松本市 都市交流課  
TEL: (0263) 34-3193  
FAX: (0263) 34-3201



## カトマンズ市を 公式訪問しました

◇12月18日(日)～22日(木)



日本とネパールが外交関係を樹立して60周年を迎えた昨年、松本市から菅谷市長、犬飼議長、一般公募の市民による訪問団27名が、12月18日から5日間の日程で、カトマンズ市を訪問しました。

カトマンズ市は、北はヒマラヤ山脈、南はインドに接する国、ネパールの首都です。松本市とカトマンズ市は、1989年(平成元年)11月に姉妹都市提携を結びました。



ネパールでは、一昨年の4月に大地震が発生し、多くの尊い命が失われ、市内に多く残る歴史的な建築物等に大きな被害がありました。松本市では、松本市海外都市交流委員会と連携し、救援募金に取り組み、市民の皆さんの善意をカトマンズ市へ届けました。

今回の訪問では、両市の友好関係を確認したほか、震災復興の現状について、視察を行ってきました。



▲タパ市長代行(左)から木彫を受け取る菅谷市長

空港で、盛大な歓迎を受けた訪問団一行は、翌日にサナット・クマール・タパ市長代行を表敬訪問しました。タパ市長代行は、松本市民の震災支援に感謝の意を示すとともに、両市交流の更なる発展に期待をにじませました。

また、表敬訪問には、昨年のリオ五輪にネパール代表として出場した柔道選手のリプ・ラム・カトリさんも同席し、両市がその功績を讃えました。カトリ選手は、松本市が平成14年に市民の募金をもとにカトマンズ市に建設した武道館を鍛錬の場として使い、オリンピック出場場の夢を叶えました。



▲フブ・ラム・カトリ選手

表敬訪問の後、訪問団は、地震で被災し、一部が壊れた武道館を訪れました。現在、壁の補修工事が行われており、今後天井の貼り換え等を行い、3カ月後の完工を目標に作業を行っています。

また、今回の訪問では、姉妹都市松本市をカトマンズ市民の皆さんに知っていただくため、カトマンズ市民会館で松本市の紹介写真展を開催し、まちの様子や、豊かな自然、伝統行事

などを紹介しました。その後、市内の公園で友好の証として「ヒマラヤザクラ」2本を菅谷市長と犬飼議長が植樹し、友好関係の更なる発展を祈念しました。



▲植樹をする市長

夕刻には、訪問団一同で小川正史駐ネパール日本大使を表敬訪問しました。

大使から、ネパールの現状や課題をお聞きし、団員もカトマンズ訪問の感想を話すなど、日本とネパールが外交関係を樹立して60周年の節目に相応しい、有意義な時間を過ごすことができました。

本年は、松本市がカトマンズ市と姉妹都市提携を結び28年を迎えます。今後の変わらぬ友好関係と交流のさらなる発展を確認した公式訪問でした。





▲修復作業中の文化財  
(パタン市王宮広場)



▲足場が組まれた文化財  
(カトマンズ市王宮広場)



▲修復工事中の武道館  
(ナヤバザー地区)



▲カトマンズの街並み



▲修復が完了した世界遺産の仏塔  
(ボダナート)



▲土台を残して崩壊した寺院  
(カトマンズ市王宮広場)

一昨年の夏から松本市と交流を進めている台湾・高雄市の陳菊（ちんきく）市長と医療、教育関係者など約30人が、県内視察の一環で松本市を訪れ、国宝松本城を視察しました。本丸庭園で歓迎式典を開催し、陳市長らを茶道でもてなしました。松本市と高雄市は、菅谷市長のトップセールス

◇4月2日(土)



## 台湾高雄市 陳菊市長が来松

主な内容	
(12月18日(日)~22日(木)、5泊6日)	
第1日目	松本発 バンコク着(経由地)
第2日目	カトマンズ着、歓迎夕食会
第3日目	市政府表敬訪問、写真展開会 友好記念植樹、武道館、市内復興 状況の視察、駐ネパール日本大使表敬
第4日目	パタン市視察、カトマンズ発 (バンコク経由)
第5日目	松本着

グリンデルワルト村の中



◇5月10日(火)~14日(土)

## グリンデルワルト村 中学生ホームステイ事業



▲陳菊 高雄市長(右)

を機に平成27年7月「健康・福祉・教育分野の交流に関する覚書」を締結しました。陳市長はあいさつで「高雄では高齢化が進んでおり、松本市の介護、健康の施策を参考にしたい。観光交流も促進したい」と述べました。菅谷市長は、「締結から1年が経過しない中で、多岐にわたる交流が進んでいることをうれしく思います。」とあいさつしました。

これまでにも、松本市の中学生がグリンデルワルト村を訪問しホームステイをする事業が行われていますが、交流を双方向にするため、本年は、グリンデルワルト村から中学生の受け入れを行いました。

### (市長表敬・鉢盛中学校)

到着翌日、一行は市長を表敬訪問した後、鉢盛中学校を訪れました。生徒の皆さんの盛大な歓迎を受けた一行は、クラスに分かれて、剣道、習字、琴、日本食の調理などを体験しました。



▲ホストファミリーの皆さんと

学生27名が、5月10日から14日の日程で松本市を訪れ、ホームステイを体験したほか、市内中学校で日本文化の体験をするなど交流を深めました。



その後、教室で給食を食べましたが、初めて口にす  
る食材に、興味深そうにし  
ていました。



▲初めての琴を弾くスイスの中学生

### (安曇・大野川中学校)

3日目は、交流の原点で  
ある安曇地区を訪れ、安曇  
中学校と大野川中学校で交  
流を深めました。

安曇中学校では、たこ焼  
きづくりや、着物の着付け、  
琴の演奏など日本文化の体  
験をし、その後訪れた大野  
川中学校では、地元の子供  
達とともに、折り紙を作っ  
て親交を温めました。翌日、  
一行は快晴の上高地を散策  
し、スイスの山の景色との  
違いを楽しみました。

### (乗鞍での交流)

その後、ふれあいパーク  
乗鞍で、地元の子供たちや、  
ホストファミリー、交流関

係者との交流会を開催しま  
した。一行は、乗鞍アルプ  
ホルンクラブの演奏や、こ  
どもたちによる和太鼓の演  
奏など盛大な歓迎を受け、  
これにグリンデルワルトか  
ら持参したアコーディオン  
による演奏や歌で応えてい  
ました。

地元の方々の手作り料理  
と楽しい会話で、心温まる  
ひと時を過ごしました。

翌日の朝、4日間の滞在  
を終えた一行は、お世話に  
なったホストファミリーと  
の別れを惜しみながら、帰  
国の途に就くため東京へと  
出発しました。次回グリン  
デルワルト村から中学生が  
訪れるのは、3年後の平成  
31年(2019年)の予定  
です。



▲明神池の前にて

## 中国駐日大使館 薛劍(セツケン)公使参事官が 来松

◇5月15日(日)



松本日中友好協会の招きで  
駐日中国大使館の薛劍(セツ  
ケン)公使参事官が松本を訪  
れました。同会の定期総会後  
「中日関係の明るい未来を創る  
ために何が求められるか」を  
テーマに講演会が開催され、  
薛劍(セツケン)公使参事官は、  
両国の明るい未来を創るため  
には、双方が中長期的に両国  
の発展を考える必要があると  
述べました。出席者からも  
活発に質問が出されるなど、  
日中友好について考える有  
意義な機会となりました。



▲講演する薛劍(セツケン)公使参事官

## グリンデルワルト村 観光局総監・局長が来松

◇8月9日(火)〜12日(金)



▲講演するブルーノ局長(右)

平成26年8月11日、国民  
の祝日として「山の日」が  
制定されました。これを記  
念して、山との関わりが深  
い国や姉妹都市、団体等か  
らお客様をお迎えし、第1  
回全国大会が開催されまし  
た。

海外姉妹都市の関連では、  
駐日ネパール大使館から臨  
時代理大使クリシュナ・チャ  
ンドラ・アリヤル公使参事  
官、グリンデルワルト村観

光局からペーター・エツガー  
総監とブルーノ・ハウスヴィ  
ルト局長が松本市を訪れま  
した。  
カトマンズ市とグリンデ  
ルワルト村は世界有数の国  
際山岳都市であり、「岳都」  
のつながりを確認しあうま  
たとな機会となりました。

## 台湾高雄市 高校生音楽訪問団が来松

◇8月17日(水)〜19日(金)



8月9日に開幕した  
「2016年セイジ・オザワ  
松本フェスティバル」に合  
わせ、台湾高雄市から范(は  
ん)教育局長を団長に新莊  
高級中学(日本の高校に相  
当)の生徒たち総勢60名が  
松本市を訪問しました。

新莊高級中学校は、音楽・  
芸術の教育に力を入れてお  
り、今回の訪問では、美術  
館の中庭で開催されたOM  
Fウェルカム・ストリート  
ライブで二胡とサクソスの  
演奏を披露したほか、松商



学園高校吹奏楽部や才能教育との交流を行いました。その後、一行は、小澤征爾総監督が指揮するリハールを鑑賞し、オーケストラの美しい音色に感激していました。



▲高雄市政府教育局訪問団

## 第27回 信濃の国 楽市楽座に出展しました

◇10月15日(土)～16日(日)



松本市海外都市交流委員  
会では姉妹・友好都市を市民の皆様に広く知っていた

だくため毎年楽市・楽座へPRブースを出展してきます。本年度は、ソルトレークシティ姉妹提携委員会(事務局 松本商工会議所)と連携し、ソルトレークシティの物産等の紹介をメインに、4都市のPRを行いました。



▲姉妹・友好都市紹介ブース

ブースでは、4都市の紹介パネルなどの展示の他、ソルトレークシティの塩湖に浮かぶアンテロープ島で醸造されるラム酒をベースにしたカクテル「ソルトレークブリーズ」(ソルトレークのそよ風の意)の販売を行いました。

開催の2日間は、天候に恵まれたこともあり、多く

のお客様がご来場され、姉妹・友好都市を身近に感じていただく機会となりました。

## 駐日ネパール臨時代理 大使をお迎えしました

◇10月15日(土)



▲クリシュナ・  
チャンドラ・アリアル  
駐日ネパール臨時代理大使

駐日ネパール臨時代理大使のクリシュナ・チャンドラ・アリアル公使参事官が松本ヒマラヤ友好会の招きにより松本を訪れました。同会では、毎年ネパール写真展を開催しており、優秀作品には、ネパール大使賞を授与することから、ネパール大使を表彰式にお招きしています。

表彰式に出席した臨時代理大使は、その後、松本城

と博物館を視察し、お城の構造や、松本の歴史の解説に、興味深そうに耳を傾けていました。

その後開催された歓迎夕食会には、松本市海外都市交流委員会、松本ヒマラヤ友好会等の交流関係者が集い、写真展でネパール大使賞を受賞した作品などを鑑賞したほか、臨時代理大使とともに、レッスアンフィリ(ネパール民謡)を歌って踊るなどしました。



▲レッスアンフィリを踊る参加者

アリアル臨時代理大使が松本市を訪れたのは、8月に制定された「山の日」記念式典にお招きして以来、2回目となりました。

## お知らせ

1. 会費納入のお願い  
海外都市交流委員会は会員の皆さんの会費で運営されています。今年度の会費のお支払いがお済みでない方は、お早めにお問い合わせいたします。振込先は次のとおりです。

八十二銀行  
松本市役所出張所  
(普通) 103120  
松本市海外都市交流委員会

## 2. 新規会員募集中!

松本市海外都市交流委員会では新たに入会を希望される方を募集しています。既に国際交流をされている個人・団体はもちろん、国際交流に関心をお持ちの方はどなたでも歓迎いたします。年会費は、個人2千円、団体1万円。お申し込みは事務局(松本市都市交流課 ☎34-3193)までお願いいたします。